

ニュースリリース

株式会社大伸社
株式会社ライブアートブックス

藤岡亜弥氏：写真集「川はゆく」が第43回木村伊兵衛写真賞を受賞
株式会社ライブアートブックスが
プリンティングコーディネーション、印刷・製本を担当

第43回木村伊兵衛写真賞が発表され、写真家 藤岡亜弥氏が選ばれました。

受賞の対象作品は写真集「川はゆく」、東京・ガーデン・ガーデンで行われた個展「アヤ子、形而上学的研究」となります。

受賞作品の写真集「川はゆく」(赤々舎)は、ライブアートブックスがプリンティングコーディネーション、印刷・製本の全工程を担当いたしました。



木村伊兵衛写真賞は朝日新聞社が、戦前・戦後を通じてわが国の写真の発展に多大な貢献をされた故木村伊兵衛氏の業績を記念し、1975年より制定した国内屈指の写真賞です。

藤岡亜弥氏 受賞作品集「川はゆく」解説：

原爆を落とされてから70年以上の時間が経過した広島を舞台としています。「平和」が記号化し、風俗となってゆく街。眼差されるほどに空洞化してゆく原爆ドーム。それらを背景としながら立ち現れる光景に、写真家の、スナップを撮る無意識は接続されました。

自らも広島を川べりに生活しながら、写真家は、歴史といま、社会と個人の関わりを、写真のなかに、瞬間のなかに発見していきます。

ひとの貌のなかに現れる風景。風景のなかに揺らめく生气。「ヒロシマ」から解き放たれたこの街は、どのような時空なのか。ときに逆行し、渦を巻き、決して直線的ではない、不可知の流れ。

そして、永遠に新しい一瞬が、この写真集の中に表現されています。

-

受賞作品の「川はゆく」はテーマを伝えるために、当初考えられていた上製本の豪華な装丁から、不要なあらゆる要素をそぎ落とし、写真集としては極めてシンプルな仕様設計となっております。

シンプルですが、用紙、製本仕様、印刷の刷り濃度に至るまで、写真のテーマを伝えるための装丁とデザインが考えつくされ、印刷に関しても度重なるテスト検証を重ねて出来た写真集です。

ライブアートブックスのプリンティングコーディネーター、デザイナー、出版社、作家が一体となり、高品質なアウトプットを実現させたことが今回の栄誉ある受賞に結び付きました。

(デザイナー：松本工房 松本久木氏)

※ライブアートブックス大阪本社、東京本社にもサンプルがございます。

ご興味をもって頂いた方は是非お声掛け頂ければ幸いです。

-

なお、木村伊兵衛写真賞の授賞式は4月24日(火) 如水会館(東京都千代田区一ツ橋)にて執り行われ、同日より、東京・新宿のニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1にて、6月14日から大阪・ニコンプラザ大阪 THE GALLERYにて受賞作品展が開催されます。